

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター

(☎96-4551・FAX22-9881)

★親子教室

- 1歳6カ月～2歳5カ月 6日(火)・13日(火)
- 2歳6カ月以上 20日(火)・27日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 1日(木)・8日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 15日(木)・22日(木)

★ツインズ・デー 16日(金)

※双子のお子さんを子育て中の方ならどなたでも参加できます。
いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要

市子育て支援センター

(はまなす保育所内☎FAX24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。
指導員と一緒に親子で楽しく遊ばせませんか。

- 0歳～1歳半 2日(金)・16日(金)
- 1歳半～2歳 9日(金)・23日(金)
- 2歳～2歳半 14日(水)・28日(水)
- 2歳半～3歳 7日(水)・21日(水)
- 3歳～3歳半 13日(火)・27日(火)
- 3歳半以上 6日(火)・20日(火)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要
(受付時間は午前9時30分～9時50分)

河北子育て支援センター

(飯野川保育所内☎61-1601・FAX62-2359)

★あそびのひろば

子育て支援センターにきて、遊びませんか。寒さに負けず外でも遊ばしましょうね。(防寒着・防寒靴を忘れないでね)

- 5日(月) 保健指導(保健師による講話)
- 14日(水)・15日(木) お店やごっこの品物作り
- 21日(水) お店やごっこをしよう
- 22日(木) 子育てについて話し合ひましょう
- 26日(月)・28日(水) ひな人形作り

(毎週 月・水・木曜日 利用時間：午前10時～11時30分)

地域に出向いています

★子育てひろば

<今月の予定は> 動くおもちゃを作って遊ぼう

(実施時間：午前10時～11時30分)

- 16日(金) 沢田崎山・後谷地・川の上(後谷地老人憩の家)
- 20日(火) 吉野・岩崎・飯野本地・飯野新田(新田交流会館)
- 23日(金) 中島・中野・牧野巣・皿貝・馬鞍(中野林業センター)

以上の地区に伺いますので、多くの方の参加をお待ちしています。

河南子育て支援センターパプラ (☎FAX72-4670)

★わいわいサロン

(2人の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です)
農村環境改善センター2階(パプラ) 午前9時30分～11時30分

● 0・1歳親子

- 6日(火) 絵本の読み聞かせ
- 13日(火) パネル『はなさかじいさん』
- 20日(火) サロントーキング
- 27日(火) 制作(おひなさま)



● 2歳以上親子

- 8日(木) おばあちゃんの読み聞かせ
- 15日(木) パネル『はなさかじいさん』
- 22日(木) サロントーキング

親子の上靴・飲み物・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談…ひとりで悩まないで！(月～金)

★スクエア子育てひろば(2・3月の予定)

2月1日(木) 豆まき会

3月15日(木) おわかれ会(思い出に残る内容にする予定です)

※今までの行事に参加し、集合写真を受け取っていない方は、パプラまで受け取りに来てください。

桃生地区子育て支援事業(桃生保健センター☎76-3360)

★遊びの広場

ところ 桃生保健センター

7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水)

ところ 桃生文化交流会館(☎76-3418)

3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)

※いずれも午前9時30分から

★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 神取いきいき交流センター

20日(火) 午前9時30分～

★子育て電話相談 5日(月) ☎76-3360

北上地区ひまわり子育て支援

★ひまわりキッズ 午前10時～11時30分

ところ 北上保健センター(☎67-2301)

7日(水)・14日(水)・21日(水)・28日(水)

牡鹿地区子育て支援事業

(牡鹿保健福祉センター☎45-2113)

★親子ふれあいコンサート

子どもと遊びを通してふれあい、向き合ってみましょう！

15日(木) 午前10時～

ところ 牡鹿保健福祉センター 清優館

講師 小町 正 氏(通称オマチマン：全国を旅する遊びマン♪)

対象 1歳児～未就学児とその保護者、子育てに関心がある方

※牡鹿地区外からの参加もお待ちしております。

★ぐんぐんすくすく

23日(金) 午前10時～

ところ 牡鹿保健福祉センター 清優館

対象 1歳児～就学前の保育所未入所児とその保護者の方

編集後記

成人式の思い出。

朝起きられず美容室に遅れて到着。化粧もせずに着付けをしてもらったものの、会場にも遅刻。後ろからこそっと式典に忍び込み、振袖の苦しさに耐えかねむっとり顔で記念写真撮影。できることならもう一回やり直したいと思う今日この頃です。

さてさて、成人式といえば振袖ですが、最近は羽織袴の新成人もたい目にするようになりましたね。今年の成人式は終わったばかりですが、早くも来年に向けて着物のレンタル予約が始まっているとか……。

なにはともあれ、新成人のみなさんおめでとうございます！これからは大人の自覚を持って、夢に向かい大きく羽ばたいてくださいな！(あ)

石巻の人口と世帯数

平成19年1月1日現在
()内は昨年同月比

 81,627人 (-774人)	 87,256人 (-687人)
 168,883人 (-1,461人)	 59,652世帯(+473世帯)

(文化財) たんぽう

②③ カツテ (勝手) の方言 (三)

石巻市文化財保護委員 谷川 正明

久しぶりに、台所に関わる方言に戻ります。今回は、料理や食品・食材にまつわる方言について見てゆきます。

《主食》

《飯》のことは普通「ママ・ママ」と言います。子どもや、大人でも目下の人にたいして用い、「ママ食って行け」などと表現します。大人同士では、「メシ」が多く使われます。おにぎりは「ヤギメスヤギミス」（焼き飯）です。焼かないおにぎりにも用います。混ぜ物のカデ（糎）については、以前取り上げましたので省略します。

主食の代用としては、県北地方の郷土料理の「ハット」が有名です。これは「すいとん」に近い料理で、石巻地方では稲井から北の方で使われている語です。石巻の西では、どの地域からこの言葉を使うか教えてください。蟹を入れると「ガニハット」などとも表現します。

「すいとん」のことを、石巻地方では主に、「ヅミレ」（掴み入れ）と言っています。ただし、標準語で「つみれ」というと、魚のすり身で作ったものを意味します。

《汁物》

汁物全般のことは「ツユ・オツユ」（汁）と言いますが、これは澄まし汁のことを言う場合が多く、味噌汁のことは「オツケ・オツゲ」と言うのが普通です。この言葉は、「御付け椀・御味御付け」が語源だと知ると、かつては上品な言葉だったことが分かりますね。

《副食》

かつては漬物である「オゴゴ」（お香の物）や、梅干の「ジンメコ」が日常的なものでした。

普段の粗末なおかずという意味で、三陸沿岸地方では「オマガネ・ウマガネ」（お賄い）という語が使われています。近所の漁師さんが雑魚などを差し入れるときに、「ウマガネにでもして下さいん」と言って、置いていったものです。謙譲の響きが

感じられる良い言葉です。この語は、今でも料理屋さんなどで、賄い料理・賄いもの、と言っている言葉です。これも三陸地方で使われる言葉ですが、酒のつまみを「オシバデ」といいます。語源の不明な言葉の一つです。

「ギリゴミ」（切り込み）は主にイカの塩辛のことを言います。「ガラボシ・ガラツコ」（乾干し）はめざしのことです。塩漬にした魚の一般的呼称は、「シヨザガナ」です。特に、塩鯉のことは「シオビキ」とか「アギアズ」と言いました。笹かまはこは、かつては「ペロカマボコ・ペロ」でした。

いずれも、石巻を代表する保存食や発酵食品です。「オヨゴシ」（お汚し）は、胡麻・味噌などの和え物で、上品な言い方です。魚の煮物などを一晩おくと煮凝りの「ゴゴナリ」（凝り+成る）ができました。これまた美味しいもので、朝食のおかずとなりました。

高野豆腐は「シミドーフ」（凍みとうふ）です。心太のことは、「デン・テンヨ」と言いました。「デン」は省略形ですが、「デンヨ」は、心太売りの呼び声から生じたといわれています。どんな呼び声であったか、ご存知の方は教えてください。

《調味料・薬味など》
醤油は「シヨイ」と転訛します。七味唐辛子のことは「ナンバン・ナンバンコ」と言います。また、「ゴシヨ」でも、唐辛子を意味します。これは、かつては仙台藩全域で使っていた用法ですが、近年ではめったに使いません。石巻地方でも聞く機会はほとんどありません。ただし、九州では今でも一般的に使われていて、柚子コシ

ヨが全国的ブームになってきているので、復権が期待できそうな言葉の一つです。



シオビキ

健康コラム

小児の発熱



市立病院 小児科部長 石井 三佳

子どもでは37・5℃以上を発熱といえます。発熱はウイルスや細菌の活動性を弱め、逆に持っている免疫力を高める防御反応と考えられています。お母さん達のなかには、熱の高さと病気の重さが比例すると思ったり、熱が高くと後遺症を残す、熱が続くと肺炎になるなどの誤解も見受けられます。風邪など（脳の病気以外）で高熱が出ても後遺症の心配はありません。では、発熱した時はどうしたら良いでしょうか。発熱のはじめは寒気やふるえがあり、手足が冷たくなります。このときは衣服などを少し多めにして暖めてあげてください。熱が上がりきって手足が熱くなれば薄着にさせて熱がこもらないようにします。解熱剤は38・5℃以上でしんどそうにしていないときに使いますが、40℃以上あっても元気にしている時には使わなくても良いのです。41℃を越すよう

などときには頭だけでなく両脇やまたの付け根の大きな動脈が通っているところを冷やします。解熱剤は6時間以上たてば使っても良いのですが1日に2回までしておきましょう。夜につらくて眠れないときのために昼間はなるべく我慢しましょう。

生後3ヶ月未満の発熱、5日以上続く発熱、意識障害やぐったり感の強い発熱の場合にはすぐに診察を受けるようにしましょう。

熱が下がったと判断するのは24時間平熱が続いた状態です。発熱のタイプによっては朝下がっていても夕方から夜にかけて熱が上がることもあり、朝下がっていても解熱しなかったと判断できない場合があるからです。熱が下がっていても食欲がなかったり元気の出ないときはまだ病気が完全に良くなっていないことを示していますので安静を保つよう



石巻市立病院